

# 東京音楽大学リポジトリ

## Tokyo College of Music Repository

### インタビューを終えて

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-06-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 甲田, 潤 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://tokyo-ondai.repo.nii.ac.jp/records/1280">https://tokyo-ondai.repo.nii.ac.jp/records/1280</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



## インタビューを終えて

松村禎三先生は、後に東京音楽大学学長、付属民族音楽研究所所長を務めた伊福部昭先生が、1974年4月に本学に着任なさると同時に、伊福部先生の許で作曲科講師として奉職され1983年3月まで学生の指導にあたられました。ちょうどその頃学生時代を過ごした私は、伊福部先生との出会いをはじめとし、いわゆる「伊福部楽派」の教えを学んだ、本学における第1世代と言えるのかも知れません。

その頃の松村先生は1973年に《ピアノ協奏曲第1番》を発表し、1978年には《ピアノ協奏曲第2番》、合唱曲《暁の讃歌》、翌1979年に《篠笛と琵琶のための詩曲》などを作曲され、第10回サントリー音楽賞(1978年度)、第27回尾高賞《ピアノ協奏曲第2番》を受賞するなど、作曲家としての充実した活動が溢れていて、それを間近で接した私の若き日々の思い出は、今でも自らの音楽活動の源泉となっています。

今回のインタビューは、松村先生の薫陶を受けた仲間で立ち上げた「アップサラス」の会長・高橋裕(作曲家)氏と筆者の二人で、2014年9月1日13時より本学学長室に於いて、3時間ほどをかけて行いました。

松村先生の代表作とも言える2曲のピアノ協奏曲を初演した野島稔学長とお話は、2曲の協奏曲の作曲過程を詳しく知る高橋裕氏を中心に、筆者も山田一雄指揮するところの第2番のレコーディングに、野島先生の譜めくり、いや譜面台として参加させて頂いた思い出話など多岐に亘り、楽しく、当時の記憶、記録などを辿りながら新しい思い出を発見する、非常に充実した時間となりました。

本来ならばもっともっと早くにこのレポートを、皆さまに読んで頂ける形にまとめ上げなくてはならなかったのですが、筆者の力不足により、今日までのこのような時間が掛かる事となってしまいました。野島先生をはじめ、関係者の皆さまにとっても申し訳なく思います。

そしてやっと、この様な形で皆さまにご報告できる次第となりました。

何より付属図書館の事務長稲葉良太氏には、辛抱強く原稿を待って頂いたり、力強く勇気を持つ助言を頂いたり、ひとかたならぬお力添えを頂き、感謝の気持ちを衷心から申し上げます。

どうかこのレポートが、皆さまが松村先生の音楽にさらに深く耳を傾ける一助となり、また或る時代における日本の現代音楽を代表する音楽家の挑戦や葛藤、そして生き様をあぶり出し、これからの時代の音楽家達へのひとつの示唆となれば、これほど幸いなことはありません。

東京音楽大学民族音楽研究所  
専任研究員 甲田 潤

### 松村禎三プロフィール

1929年1月15日京都市生まれ。旧制第三高等学校（現・京都大学）理科卒業。

旧制三高在学中に両親を失い、兄は出征したまま行方不明となる。

京都時代に和声を長廣敏雄、ピアノを高橋恒治に師事。上京し清瀬保二の知遇を得、清瀬の紹介で東京芸術大学教授、池内友次郎の教えを受ける。

1950年、芸大受験を結核のため失敗、5年間の闘病生活に入る。その間伊福部昭・池内友次郎の各氏に師事。療養中に俳句も創作するようになる。

退院した1955年《序奏とアレグロ》がNHK 毎日コンクール作曲部門第1位を受賞、デビュー作となる。

1970年より東京芸術大学（1975年助教授、1978年教授）、1974年より1983年まで東京音楽大学にて音楽学部作曲科の教鞭を執る。

代表作としては、《2曲の交響曲》、《管弦楽のための前奏曲》、《2曲のピアノ協奏曲》、《チェロ協奏曲》、《弦楽四重奏とピアノのための音楽》、《ピアノ三重奏曲》、《弦楽四重奏曲》などがある。サントリー音楽財団委嘱による遠藤周作の小説に基づくオペラ《沈黙》では毎日芸術賞・モービル音楽賞・京都音楽賞大賞を受賞。

また現代音楽ならず映画、舞台の分野でも活躍し、毎日映画コンクール音楽賞、イタリア放送協会賞、1989年～1992年にかけて連続で日本アカデミー賞優秀音楽賞を受賞。第17回、第27回尾高賞受賞。第10回サントリー音楽賞受賞。1994年モービル音楽賞受賞。芸術祭優秀賞など受賞多数。2000年勲四等旭日小綬章受章。

2007年8月6日逝去。